
日本科学史学会 2013 年度総会・第 60 回年会プログラム

2013 年 5 月 25 日(土)

- 9:00 受付開始 (2 号館 4 階)
9:40-12:10 一般講演 (A 会場、B 会場、C 会場、D 会場)
12:10-13:00 昼休み
13:00-14:20 一般講演 (A 会場、B 会場、C 会場、D 会場)
14:30-16:40 日本科学史学会第 60 回年会記念シンポジウム (一般公開、3 号館 2 階講堂)
「ボーアの原子構造論 100 周年記念シンポジウム」
16:50-18:20 総会 (3 号館 2 階講堂)
18:30-20:30 懇親会、日本科学史学会賞授与式 (3 号館 1 階学生食堂アゼリア)

2013 年 5 月 26 日(日)

- 8:40 受付開始 (2 号館 4 階)
9:20-10:40 一般講演 (A 会場、B 会場、C 会場、D 会場)
10:50-12:10 ミニシンポジウム (2 号館 4 階教室 2403)
「75 周年に向け、科学史学会を振り返る」
12:10-13:00 昼休み
13:00-14:00 一般講演 (A 会場、B 会場、C 会場、D 会場)
14:10-16:40
一般シンポジウム(一般公開、2 号館 4 階教室 2403)
「明治中期理科・科学教育の新実態を再発見する生徒筆記・文書研究の新展開」

日本学術会議主催シンポジウム(一般公開、3 号館 2 階講堂)
「原子力発電の社会的普及プロセスの歴史的検討」

2013 年 5 月 25 日(土)一般講演午前の部 9:40-12:10

<A 会場:2 号館 4 階 2401 教室>

- | | | |
|----------|---|-------|
| 9:40 | A01 『明治前科学史』の執筆陣(続) | 菊池俊彦 |
| 10:00 | A02 技術・全体・国家—1940 年代前半の相川春喜(1909-1953)再考 | 金山浩司 |
| 10:20 | A03 近代日本の放射線医学が媒介した二つの世界:伝統と近代の間で | 中尾麻伊香 |
| 10:40 | A04 モラエスの諸著作に現れた科学的事項 | 西條敏美 |
| 【10 分休憩】 | | |
| 11:10 | A05 斎藤報恩会設立の背景 | 米澤晋彦 |
| 11:30 | A06 池原止戈夫—戦後大学改革の視点から | 岡田大士 |
| 11:50 | A07 統治技術としてのリスク・コミュニケーション:日本の科学技術論(STS)
における諸概念の再検討・その 3 | 木原英逸 |

<B会場:2号館4階2402教室>

- 9:40 B01 近世日本の測量術書に見られる算術について 佐藤賢一
10:00 B02 格子なき格子乗算 —『盤珠算法』(徐心魯、1573年)の「鋪地錦」 城地 茂
10:20 B03 建部賢弘の円周率の計算についての注意
—なぜ累遍増約術を発想できたか— 真島秀行
10:40 B04 近世初期日本の測量術と兵学:
佐賀とエジンバラの「大円分度」をめぐって 平岡隆二

【10分休憩】

- 11:10 B05 群馬県師範学校の入試および学内試験の問題から探る
明治中期の物理教育 高橋 浩
11:30 B06 明治初期における物理教育実験器械の輸入と国産化
—器械商品目録の分析を中心に— 永平幸雄
11:50 B07 高野岩三郎と日本の統計学—大正8年度東大講義録の考証— 上藤一郎

<C会場:2号館4階2412教室>

- 9:40 C01 江戸時代のオクタント・セキスタントの所在調査 中村 士
10:00 C02 地球惑星科学者としての新城新蔵 山田俊弘
10:20 C03 清末中国の科学雑誌記事に見る近代天文学の普及過程 斎藤保男
10:40 C04 日本における電波天文学の成立 田中克範

【10分休憩】

- 11:10 C05 久米邦武が『米欧回覧実記』で活用した地理書
(その6 スイス・スペイン・ポルトガル編) 福川知子
11:30 C06 日本の地質調査所の嚆矢 矢島道子
11:50 C07 直良信夫と「明石原人」について(続) 下司和男

<D会場:2号館4階2413教室>

- 9:40 D01 民間航空機エンジンの技術と産業の特性 山崎文徳
10:00 D02 航空機の安全基準制定の歴史 橋本毅彦
10:20 D03 技術院と東京帝国大学航空研究所の関係 平清水史暁
10:40 D04 東京大学第二工学部の歴史的意味 高田誠二

【10分休憩】

- 11:10 D05 フォン・ノイマンによるオートマトン研究の展開 杉本 舞
11:30 D06 技術発達における「抵抗」の役割の研究
—欧州における低エネルギー建築技術を事例に— 詫間直樹
11:50 D07 薄膜磁性体によるパラメトロンの可能性 小山俊士

2013年5月25日(土)一般講演午後の部 13:00-14:20

<A会場:2号館4階2401教室>

- 13:00 A08 1940年代の文部省科学研究費交付金
一分野別割合にみる戦時と戦後の連続性— 水沢 光
- 13:20 A09 厚生科学と生命倫理:1980~90年代の諮問機関における議論を中心に 田中丹史
- 13:40 A10 日本の「地震予知研究計画」における科学と政治 北林雅洋

<B会場:2号館4階2402教室>

- 13:00 B08 日本での量子力学の講義と杉浦義勝 中根美知代
- 13:20 B09 西脇安による欧州各国へのビキニ被害調査報告(その二) 山崎正勝
- 13:40 B10 高速増殖炉研究に於ける国際協力 小島智恵子
- 14:00 B11 伏見康治による欧米プラズマ・核融合研究機関の視察
—在米B計画支持者による名古屋大学プラズマ研究所への要望— 雨宮高久

<C会場:2号館4階2412教室>

- 13:00 C08 スミソニアン博物館蔵スタイネガー採集日本産両生爬虫類液浸標本 溝口 元
- 13:20 C09 戦前期台湾の技術遺産の現状と日本の寄与 山田大隆
- 13:40 C10 ブラジルの近代的鉄鋼産業の起源 松井昭男
- 14:00 C11 ベッセマー製鋼法の発明とスペクトル分析 初山高仁

<D会場:2号館4階2413教室>

- 13:00 D08 18世紀前半の力学における二つの研究伝統の合流 野澤 聡
- 13:20 D09 ベルセリウスにおける重さと化学作用の関係 夏目賢一
- 13:40 D10 19世紀英国科学者によるグランド・ツアー
—チャールズ・バベッジの第2回目のツアー— 野村恒彦
- 14:00 D11 マクローリンの自然哲学について
—活力説への反論に見る力概念と空間概念の関係— 工藤璃輝

14:30-16:40 記念シンポジウム

<記念シンポジウム 3号館2階講堂>

S1 「ボーアの原子構造論100周年記念シンポジウム」

小島智恵子(代表)・亀淵迪・今野宏之・西尾成子

2013年5月26日(日)一般講演午前の部 9:20-10:40

<A会場:2号館4階2401教室>

- 9:20 A11 学問論史はなんの役に立つか—ルネサンスおよび初期近代を例に— 東 慎一郎
9:40 A12 "Scientist"という用語の誕生～メアリー・サマヴィルの科学書に対する
ウィリアム・ヒューウェルの書評～ 飯島亜衣
10:00 A13 科学者マイケル・ポランニーを育てたものとその背景について 古谷紳太郎
10:20 A14 ソ連科学アカデミー・遺伝学研究所の査察をめぐる一考察 藤岡 毅

<B会場:2号館4階2402教室>

- 9:20 B12 エウクレイデス『原論』の整数論:比例と素因数の役割をめぐって 斎藤 憲
9:40 B13 活力論争の展開に見る「運動物体の力」の消長 有賀暢迪
10:00 B14 ガリレオはアルキメデス主義者か?～伊東俊太郎説の再考～ 三富照久
10:20 B15 ガリレオの『太陽黒点論』における太陽黒点の描写 伊藤和行

<C会場:2号館4階2412教室>

- 9:20 C12 クリュシッポスと初期アレクサンドリアの医学者たち
—人体の中樞器官をめぐる論争史の一端— 今井正浩
9:40 C13 フランシス・ベイコン『古人の知恵について』に見る長命論 柴田和宏
10:00 C14 イギリス1870年代半ばの微生物学
…リスターとバードン・サンダーソンを中心に 小川真理子
10:20 C15 馬の健康を測る 加賀野井瞳

<D会場:2号館4階2413教室>

- 9:20 D12 19世紀前半のプロイセンにおける中等数学教育 橋本雄太
9:40 D13 デービス・ギルバートの熱と水蒸気の理論
—科学者と技術者との間の科学的知識の伝播— 小林学
10:00 D14 Clausiusによる力学的熱理論の歴史について 依田 聖
10:20 D15 クラウジウスの Entropie と微視量との関係 八木江里

10:50-12:10 ミニシンポジウム

<ミニシンポジウム 2号館4階教室2403>

S2 「75周年に向け、科学史学会を振り返る」

河村豊(代表)・道家達将・松原洋子・橋本毅彦・高橋智子

2013年5月26日(日)一般講演午後の部 13:00-14:00

<A会場:2号館4階2401教室>

13:00 A15 創薬の科学・技術と規制

—1962年キーフォーヴァー・ハリス医薬品改正法の再評価をめぐって— 山口祐司

13:20 A16 米国のイノベーション戦略 —「両用技術」戦略に焦点を当てて 高橋信一

13:40 A17 DNAのC2空間群に関する記述の誤りとフランクリンの
MRC報告書の扱いをめぐる諸問題 佐藤利夫

<B会場:2号館4階2402教室>

13:00 B16 プリンキピア第I書補助定理XIII:典拠の謎と円錐曲線論史上の役割 杉本 剛

13:20 B17 ニュートンの流体抵抗理論 中澤 聡

13:40 B18 科学啓蒙書に登場するニュートン光学 多久和理実

<C会場:2号館4階2412教室>

13:00 C16 京城帝国大学第一内科学教授 岩井誠四郎について 石田純郎

13:20 C17 脊髄損傷に関する日本の再生医療史
—臨床研究とガイドライン制定への当事者団体の関与を中心に— 坂井めぐみ

13:40 C18 放射線影響調査研究体制の形成 柿原 泰

<D会場:2号館4階2413教室>

13:00 D16 日本における電子顕微鏡法の揺籃期 黒田光太郎

13:20 D17 科学研究における動画: Braggの泡模型と結晶内転位の観察 山口まり

13:40 D18 超伝導体MgB₂の電子フォノン結合定数 λ の値について 溝畑典宏

14:10-16:40 シンポジウム

<一般シンポジウム 2号館4階教室2403>

S3 「明治中期理科・科学教育の新実態を再発見する生徒筆記・文書研究の新展開」

小林昭三(代表)・高橋 浩・所澤 潤・赤羽 明・興治文子

<日本学術会議主催シンポジウム3号館2階講堂>

S4 「原子力発電の社会的普及プロセスの歴史的検討」

兵藤友博(代表)・佐野正博・横田陽子・田中三彦・木本忠昭
